

島根県教育センター研究・情報スタッフより

令和3年度 長期研修員 ～研修成果中間発表会(オンデマンド配信)～

島根県教育センター長期研修員の研修成果中間発表会をオンデマンド配信で行いました。この会は、4月から開始した研修について、これまでの取組や成果、今後の展望を発表するものです。視聴者(参加者)からは、Web アンケートを利用して、研修テーマ設定の背景や具体的な実践内容について等、多くの質問や意見をいただきました。今後、研修成果をまとめた「研修報告」を発刊します。1年間の研修の成果の波及を期待しています。研修を進めるに際して、研修員の所属校の皆様をはじめ、研修協力校、関係教育機関の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

令和4年度 島根県教育センター 教育研究発表会のお知らせ

教育センターでは、教職員の皆様の参考になり、教育課題の解決の一助となることを目指し、調査・研究活動に取り組んでいます。この研究の成果を発信する場として、「しまね教育センター発 よりよい社会と未来に向けた教育～ICTを使うことが日常風景になる今とこれからの教育～」というテーマで令和4年度教育研究発表会を予定しています。これらの内容が、各校の教育実践の充実につながることを切に願っています。

島根県教育センター教育研究発表会【オンライン開催】

《第1部》【オンデマンド配信】 研究・研修成果発表

配信期間 5月13日(金)～5月31日(火)

指導主事(共同・個人)の研究発表、長期研修員の研修成果発表

《第2部》【オンライン配信】 実践紹介・講演

開催日時 5月21日(土) 13:30～16:00(予定)

[実践紹介] 県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より

[講演講師] 豊福晋平氏(国際大学グローバル・コミュニケーションセンター主幹研究員)

今度珠美氏(国際大学グローバル・コミュニケーションセンター客員研究員)

【浜田教育センター教育相談スタッフ 共同研究】

学校現場を支える教育センターの役割 - 「ケース」支援を通じて -

教育相談スタッフでは、平成31年度(令和元年度)より標題の共同研究に取り組んできました。短時間で実施でき、解決に向けたケース会議として、「次へのヒントが見つかるケース会議」を学校へ提案します。ポイントに沿ったケース会議の運営を研究し、実際に学校で使えるパッケージを提供することにより、学校の実践を支援することを目的としたものです。現在、このパッケージをHPにアップできるよう最終調整をしているところです。

次へのヒントが見つかるケース会議の流れ

- ① ルールの確認 ファシリテーター
- ② 事例の報告(困っていることから) 事例提供者
- ③ ゴールの仮設定 事例提供者
- ④ 質問・リソース探し※短い問いで 事例提供者 参加者
- ⑤ ゴールの再設定 事例提供者
- ⑥ 解決のための対応策を考える 参加者
- ⑦ 取り組めそうなことを決定 事例提供者
- ⑦ 記録(写真撮影) ファシリテーター

会議の構成メンバー



パッケージには、「(10分間でポイントが分かる)事前視聴動画」、「(会議手順が分かる)進行シナリオ」等を収容しています。手軽に活用していただける形でのデータ提供を予定しているところです。「短時間化」や「省力化」という視点だけでなく、「解決に向けた会議」をつくるという意味でも、この「次へのヒントが見つかるケース会議」は、学校現場で起こる事象に向き合っている教職員集団が前に進む一歩を考えていく一つの手段になり得るのではないかと考えています。ぜひご活用ください。